

兵庫版

尼崎市名神町1丁目9-1
兵庫県借地借家人組合本部
発行人 田中祥晃
☎06-6429-1500
www.syakuya.com



毎月1回15日発行
定価1部150円
東京都新宿区新宿
全国借地借家人
組合連合会

ガイアの夜明け (テレビ放映) 組合長出演



昨年の大阪北部地震と台風21号で外壁のひび割れ、風呂場のタイル割れ、スレート破損など家主に修繕を申し入れ、約束しても守らず相談する阿部さん

ブラック地主・家主と地上げ

行為が横行

テレビを見た大反響 3人入会



兵庫県借地借家人組合 組合長 田中 祥晃さん(83歳)

2月19日(火) 22時より関東ではテレビ東京、関西ではテレビ大阪の番組「ガイアの夜明け」で田中組合長が出演し50分間放映された。東

京オリソニックやリニア新幹線開通や大阪万博が予定され地域では「ブラック地主・家主」、地価師と目されるいわゆる「地上げ」行為が横行し、古い借家やアパートを買い取り強引な立退きを要求する不動産業者の実態に迫るドキュメント番組に組合長が出演

しました。

画面は名古屋駅の近くの長屋を買い取った不動産業者は借家人を強引に追い出し、空き室の玄関のドアを破壊し、窓ガラスも破壊し、地域住民を不安がらせている場面。

2番目はJR尼崎駅の近くの7軒長屋の空家を切り取り、外壁の養生もせず、ブルーシートを被せるだけで3年も4年も放置し、ブルーシートの劣化による雨漏り、寒い風が部屋内吹き込むというひどい状態で放置している現状とブラック家主とたたかう借家人を紹介する場面。
3番目には西宮市内に住んでいる86歳の高齢の女性が2階建て10室あるアパートで不動産業者が元家主から買い取り追い出し行為で一人残っ

て頑張っている姿、翌20日(水)の朝、松、地元の兵庫からそして組合長と共に10時より「ガイアの夜明け」を見たと言つて電話相談が続き、3人の入会者があり、そして度重なる交渉で解決した場面が、東京、千葉、埼玉、神奈川、名古屋、大阪、岡山、広島、高

UR住宅家賃減免を求める集会

「UR住宅家賃減免について」講演

弁護士 増田尚さん



家賃減免について講演する 増田弁護士さん

さらに独立行政法人化。都市 再開発中心へ。独立採算制よって賃貸住宅の市場化で民間家賃並みになる。機構法25条4項は 機構に権限を付与したもの 居住者の権利を定めたものとはいえない

2月23日、UR住宅家賃減免を求める集会在兵庫県借地借家人組合本部・西宮準備支部、西宮民主商工会によつて西宮市立高須公民館で開かれた。司会は山田民商會長が勤め、地元の中村允彦さんと兵庫県借組の田中祥晃組合長から冒頭にあいさつがありました。

家賃は公共性・原価主義、

1955年に日本住宅公団が設立。住宅に困窮する勤労者のために耐火性能を有する構造の集合住宅を大量に建て、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的としました。家賃の決定は住宅の公共性から原価主義。後に地価、建設費の高騰で破綻する。

意見

- 年金と働いて何とかやっていけるが年金だけになると不安。
 - 夫人は税金を払っているのだから公営住宅にも入居できない。
 - 収入に比べ高い家賃は払えない。
 - 「UR住宅に住み続ける会」入会者と共に運動を進めていくことを確認しました。
- その後、日本住宅公団が改称する度に、実質的な市場家賃化による